

## 委員会要旨

日 時	令和6年1月18日(木) 午前10時から11時40分まで
場 所	軽井沢町中央公民館 大講堂
件 名	第3回軽井沢町庁舎改築周辺整備事業推進委員会
出席者	委員：池田靖史委員、市村強志委員、西垣忍委員、小林久史委員、大町哲也委員、千葉篤史委員、小林美智子委員、荒井美和委員、外川善行委員、大工原亮子委員、小林里恵委員、篠原幸雄委員、佐藤一郎委員、福原未来委員、柴崎雅寿委員、野村有里委員、船曳鴻紅委員、堀池玲子委員、堀内勉委員、山崎元委員、上田公三委員 町：小池副町長 事務局：中山総合政策課長、土赤まちづくり推進室長、佐藤 欠席：島田茂夫委員、本城慎之介委員、島崎直也委員
1. 開 会	
2. 議 題	
(1) これまでの設計者と事業の見直しを行うことについて	
◇パブコメの結果及び委員間での議論【資料：パブコメ意見とりまとめ、委員意見一覧】	
ア 意見募集の結果について	
・令和5年12月19日から令和6年1月15日までの約1ヶ月間、意見募集を行い、50名の方から51件の意見をいただくことができた。	
●パブコメ及び委員意見を踏まえた町の新たな方針	
・アドバイザーの起用の件について、町としてはマスターアーキテクトである團紀彦氏の他に、町側の立場に立ったより専門的で具体的な助言や、計画設計の内容確認を補助してもらうためのアドバイザーを置くことは有用である考え、これから見直しをしていく基本方針でしっかり打ち出していきたい。	
・コミュニケーションの部分について、町としては、住民とのコミュニケーションを十分に図って事業を進めていきたいと考えている。また、山下三浦JVも柔軟に対応をしていただける姿勢を持っている。ただし、その部分に係る町のこれまでのノウハウ等が十分でないということも実感しており、委員会の意見を聴きながら、事業に反映させていきたい。	
イ 委員会内での議論及び意見集約について	
●これまでの設計者と共に事業の見直しを行うことについて	
・委員の意見としては賛成・概ね賛成の意見が多かった。(明確な反対意見もあり。)	
・アドバイザーやコミュニケーションの部分について条件を付す委員もいた。	
・委員長としては、満場一致の統一した結論ではなく、委員それぞれの意見をまとめて町長へ報告する。	
⇒パブコメ・委員会の意見を踏まえて、1月31日の議会全員協議会で 「これまでの設計事業者と共に事業の見直しを進めていく」ことを発表(HP等に掲載)	
(2) 今後の見通しについて【資料：今後の論点と質問の整理、他】	
●論点の整理	
・町長の最終判断が未だではあるが、仮定の話で議論を先に進めたい。	
・これまでの質問に対する回答及び議論を7つの論点に整理し、次回の委員会から本格的な議論を進めていくこととした。	

【主な議論・質疑】

- ・庁舎と公民館を部会に分けて議論を進めていくとのことだが、この二つは不分離ではないか。
- ⇒委員会運営については、今後の進め方として検討
- ・別荘の方や庁舎周辺整備事業の近隣住民の方への意見聴取が必要
  - ・町長のまちづくりのビジョンと庁舎の位置付けについて知りたい。
- ⇒次回委員会で町長より直接説明
- ・役場職員の意見も重要
  - ・コミュニケーションの取り方について、早めに方向性を決めていった方が、議論が活性化する。
  - ・公民館（複合施設）の検討もしっかりとしてほしい。
  - ・コスト管理の部分は非常に重要

(3) その他

- ・事務局より日程確認。第4回（2/14（水）10：00から）、第5回（3/19（火）13：30から）

3. 閉 会

以 上